

大学・短大希望保護者説明会

I 受験までの流れ

□学部・学科の決定：何を学びたいかをまず決める

- ・将来の仕事や目標から考える。その際、実現可能なものか確認をする。
学芸員・図書館司書 ⇒ 正採用で働けるか・・・
スポーツ関係 ⇒ どんな仕事に就くことができるか・・・
- ・自分自身を振り返ってみて趣味や興味のある事柄から考える。
小学校の先生になりたい。⇒ 教育
経済の仕組みを学びたい⇒ 経済
- ・得意科目から考える。
「数学」⇒ 理工・経済・情報系
「英語」⇒ 外国語
「生物・化学」⇒ 栄養・薬

□学校の決定：学びたいこと（やりたい仕事）が実現できる学校を決める

- ・各大学・短大が持っている特徴に興味を持つ。
例）公務員講座が充実している。
例）留学制度が整っている。
- ・本校の実績校から、考える。
「進路のしおり」 資料編を参考にする。（別紙）

※1校に絞るのではなく、複数校考える。比較検討することで、その学校の特色が見えてくる。必ず複数の大学の説明会（オープンキャンパス）などに参加して学校を見る。また目標にしたい大学とそこから少しレベルを下げた大学もリストアップしておく。ただし妥協はしないように。

□受験形態の決定

学校推薦型選抜（指定校・公募）その他校長推薦の必要なものは選考会議がある。総合型選抜（元 AO 入試）に関してはエントリー（面談）前に担任に申込書を提出する。

※いずれの形態を目指すにしても、一般入試まで見通して学習を怠らない。

□金銭面の準備

- ・推薦を利用しての受験を目指す生徒は、主に2学期以降（早ければ夏休み）に初年度納入金（入学手続き時に納入しなければならない。学校によっては100万円程度）を払う必要がある。

※奨学金は入学後受け取るものなので初年度納入金にあてることができない。各家庭で用意する必要がある。教育ローンなども利用できる。

学費	私立文系大学, 短期大学	約120万円～140万円(入学金+授業料等)
	理系大学	約150万円以上 (医療系は高額)
受験料	1校あたり	3万5千円程度 ※推薦入試でも必要
センター試験		18,000円(3教科以上) 12,000円(2教科以下)

Ⅱ 受験形態

学校推薦型選抜

- ① **指定校推薦** 大学が高校に人数を指定して推薦を依頼してくる推薦方式。(基本的に1名)3年1学期までの評定平均や欠席数、活動状況(部活)、生活態度などをもとに校内選考を経て出願。(併願不可)
※大学が指定する条件と本校独自の条件がある。特に見学報告書の提出が必要なのでオープンキャンパスなどに積極的に参加する。

8月下旬 **第1回指定校推薦候補者選考会議**
↓ (第1回大学・短大指定校推薦受験申込書を提出)
指定校推薦候補者の決定

9月上旬 **第2回指定校推薦候補者選考会議** (第1回の残った枠を希望できる。)
17日 **進学者選考会議**
↓
正式に受験が認められる。(指定校用出願書類等配布)

下旬 これ以降随時選考会議を経て出願できる。(推薦入試受験申込書を提出)

11月以降 出願・受験

- 注意！ ☆申込書提出後は志望校の変更はできない。
☆担任と相談なく申込書を提出しても受け付けられない。
☆候補者に選ばれた後も油断しないで勉強に励む。大学や短大に入学後、学業についていけるように在学中から意識を高く持つことが必要。

学校推薦型選抜

- ② **公募制推薦** 大学が設定する条件をクリアすれば各自が受験する大学を選ぶことができる推薦方式。高校に割り当てられた人数制限はない。3年1学期までの評定平均や欠席数、活動状況(部活)、生活態度などが選考対象だが、筆記試験を課す大学(主に人気校)もある。基本的に併願不可。
※大学が指定する条件と本校独自に設定された条件がある。

9月17日 **進学者選考会議** (推薦入試受験申込書を提出)
↓
受験が認められる。

下旬 これ以降随時選考会議を経て出願できる。(推薦入試受験申込書を提出)

11月以降 出願・受験

- 注意！ ☆倍率や、入試科目によって合否が左右される。
☆基本、併願は不可。(ただし、両校とも併願可なら OK。)
☆受験日が遅いので、不合格だった時どうするかも考えておく。

③総合型選抜 高校の成績、面接、自己推薦書、小論文などで本人の意欲や適性などを勘案して選抜する入試方法。基本的に併願不可。

エントリーへの準備



十分にオープンキャンパス（キャンパス見学）をする。
自分の適性、勉強したい事とマッチしているか。

7月1日よりエントリー開始（事前に総合型選抜エントリー申込書を担任に提出）



大学の面談、課題等を進める、出願許可がでる。

9月1日より出願開始（総合型選抜エントリー申込書を担任に必ず提出）

- 注意！ ☆早い時期の取り組みと、十分な学校・学部・学科研究が合格への近道
☆夏休み中に合否が出る場合があるが、初年度納入金もそれだけ早く必要
筆記試験が中心。1月中旬以降に実施される。併願は可能

④一般入試

- 昨年度は本校の生徒を含めて首都圏の学生にとって大変厳しい結果になった。今年度も全体的に苦戦することが予想される。
- 大学入学共通テスト（全ての国公立大学共通の試験。多くの私立も関係）利用は厳しい。私立大学に関しては各大学の個別試験が本校生徒には有効。
- 夏休みは、1日に8時間程度の勉強が必要。休み明けの模試の結果が重要。

※入試の基準、受験科目等も年度ごとに変わっているので、令和元年度入試の募集要項で確認する。

出願上の注意

- 3年次に欠点をとったり、問題行動で校長からの指導があった生徒（その他本校が指定する条件を満たさない生徒）の校長推薦はできない。
- 学校推薦型選抜や総合型選抜で合格した場合は、必ずその学校に入学しなければならない。辞退や取り消しはできない。
- 三郷北高校が設定する正式な手続きをせず合格した場合は、その合格を取り消してもら場合もある。
- 併願は双方の大学が認めている場合のみ「可」とする。

Ⅲ 年間の流れ

4月 ~~18日 保護者対象説明会~~ 中止

~~22日～28日 二者面談（目指す職業・学部・学科、資金等）~~ 延期

★志望校・志望学部の決定に向け最終段階

★奨学金についての説明会あり。以降必要なら手続きを進める。

5月 ~~実力診断テスト（希望者だができるだけ受けることが望ましい。）~~ 中止

変更 ~~1日~~ 26日 第1回進路希望調査〆切

21日 進路用写真撮影（整容の確認）ワイヤツ、フリガー汚れ、頭髮・眉

★志望校・志望学部を決定し、具体的に準備し始める

★進路用写真撮影（5/21）あり。身だしなみの確認。

6月4日（木）～10日（水） 3者面談 志望校を確認

キャンパス見学・模擬面接

★志望校・志望学部について三者面談で確認。

★大学案内等を各自取り寄せる

7月 1日 総合型選抜(AO)エントリー解禁（※総合型選抜エントリー申込書を提出）

上旬 第2回進路希望調査

8月 実力診断テスト（全員受験）

3日（月）今年度指定校一覧発表（以降追加発表あり。）

※第1回大学・短大・学校推薦型選抜（指定校）受験申込書併せて見学報告書の提出あり。

24日 第1回学校推薦型選抜（指定校）候補者選考会議（担任より結果の連絡）

9月1日 総合型選抜(AO)出願開始（※総合型選抜エントリー申込書を提出）

★入試への準備、補習参加、小論文練習、面接練習などを各自進める

特に一般入試希望者は、夏の取り組みが重要！

初旬 「大学入学共通テスト」案内配布、説明 →9月下旬 書類締切、

9月上旬 推薦入試受験申込書〆切（公募推薦）

9月17日（木）進学者選考会議（指定校・公募）

大・短進学希望者説明会 入試当日の注意、

★推薦入試の正式申し込み、出願書類・受験に向けて準備

11月 推薦入試本番！！

12月 一般入試受験校調査

★一般受験は、入試スケジュールをたてる。

1月17日 大学入学共通テスト

1月中旬以降 一般入試